

体験活動を通して、異年齢間の交流を深める

ネイパル森

ネイパルでクリスマス こども編

1 事業のねらい
創作活動やレクリエーションを通じて、異年齢間の交流を図る。

2 事業の概要

- 期日 R4.12.10(土)～11(日) 1泊2日
- 対象 小学校4年生～6年生 90名程度
- 人数 66名(応募75名) ボランティア12名
- 場所 ネイパル森

3 プログラム

	11:00	11:15	12:10	13:30	15:15	17:30	18:45	19:40	22:00	
12/10(土)	受付	開会式	活動1【ネイパル森】 仲良くなろう! (アイスブレイク)	昼食	活動2【ネイパル森】 なぞ解きラリー (協力しクイズを解く)	活動3【ネイパル森】 ケーキを作ろう (クリスマスケーキ作り)	夕食	活動4【ネイパル森】 絵本上映会 (読み友「もりのそら」 笹谷 琢史氏)	入浴 自由時間	就寝
	7:15	9:00	11:00	11:20	11:30					
12/11(日)	起床	朝食	活動5【ネイパル森】 クリスマスグッズをつくろう (クリスマスペーパークラフト)	アンケート 記入	閉会式	終了				

4 ねらいを達成するための活動の工夫

- 異年齢間の交流を促進するための活動班・プログラム構成
 - ・学年混合の班編成にし、グループ単位での活動を多く設定した。活動1ではゲーム形式で行い、班ごとに自己紹介をしたり、協力して課題を達成したりするなど交流する場面を多く取り入れた。
- 参加者の意欲を高める活動内容の設定
 - ・活動2では問題の難易度を高めに設定し、高学年の参加者を中心にグループでの話し合いが促されるようにした。またケーキやグッズづくりでは、簡単に作成できるようにレシピ開発を行い、中学年の参加者にも安心して取り組めるような工夫をした。

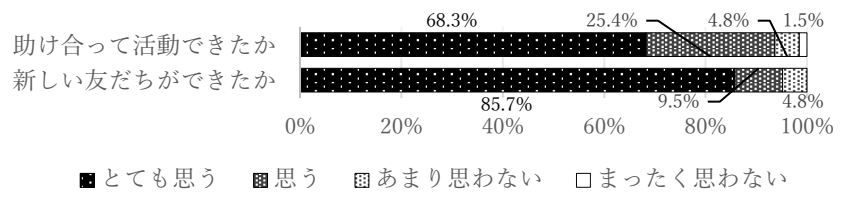


クリスマスなぞ解きラリー



クリスマスケーキ作り

5 事業の評価



- 参加者同士の交流に関する項目で肯定的な評価を得ることができた。
- 「色々な学年の人達とたくさん話すことができた。」など、ねらいに迫る感想を得ることができた。

6 ねらいを踏まえた成果と課題

- 参加者アンケートでは「みんなで協力してできた」というような記述が多く、活動を通じて参加者の交流を促進させることができた。また、ボランティアとの交流の機会を多く設定できたことも成果である。
- 参加者によっては、活動内容が難しいという声もあった。参加者全員の満足度を上げられるよう、更なる活動内容の工夫が求められる。



企画のポイント

活動の難易度を調整し、参加者の活動意欲を高めながらコミュニケーションを促進。